

# ご使用の前に鍋・フライパン・ケトルの鍋底をご確認ください

**警告** ●火災・感電・けが・やけどの原因になります。



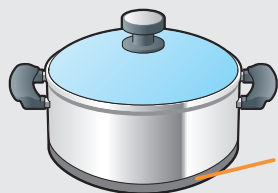
## 鍋底がはがれかけた鍋は使用しない

鍋底が、はがれかけた状態で加熱するとはがれた部分が異常過熱し、赤熱するおそれがあります。トッププレートが局所過熱し、破損（ひび割れ）・変色する原因となります。

禁止

下記のような鍋底を貼り合わせた鍋などで、鍋底にはがれや変色のある、鍋・フライパン・ケトルは使わないでください。

### 鍋底を貼り合わせた鍋（例）



鍋底に別部材を貼り付け圧着した鍋

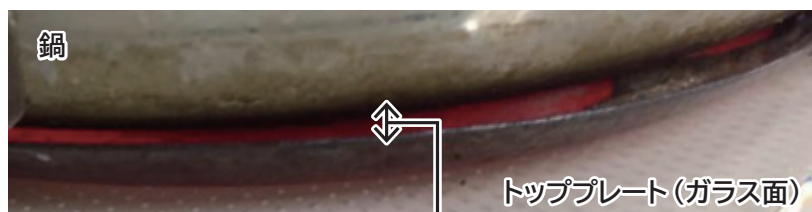
### ご注意

- 鍋底のはがれた部分は、加熱すると調理物に熱が伝わらず、鍋底のはがれた部分だけが異常過熱することで、変色します。
- 鍋底にはがれや変色のある、鍋・フライパン・ケトルは、ご使用を続けるとトッププレートが変色したり破損（ひび割れ）するおそれがあります。

## 鍋底がはがれた鍋（例①）



鍋底がはがれて変色している

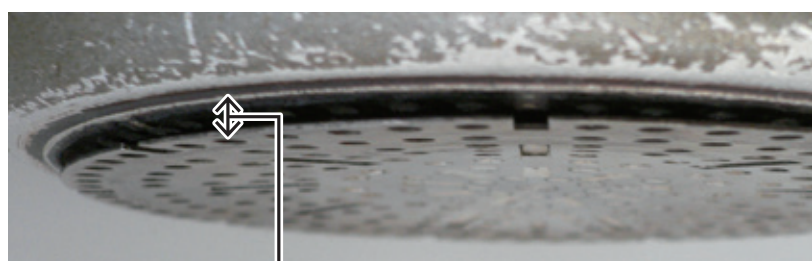


鍋底がはがれかけた状態で加熱し、はがれた部分が異常過熱して赤熱している

## 鍋底がはがれた鍋（例②）



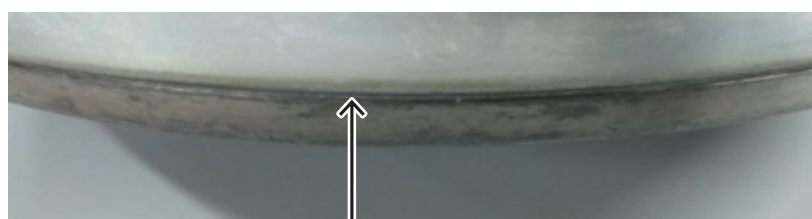
鍋底がはがれてすき間がある



## 鍋底がはがれた鍋（例③）





鍋底にはがれはないが、黒っぽく変色している



見た目では鍋底にはがれはない

※鍋底が変色した鍋は、見た目では鍋底がはがれてないように見えても、内側がはがれています。

# 鍋底を貼り合わせた鍋・フライパン・ケトルについて対応のしかた

現象	ここを確認	対応のしかた
<ul style="list-style-type: none"> <li>●  と表示され、加熱が停止した (鍋底の異常過熱を検知)</li> </ul>	鍋底がはがれている	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋底がはがれかけている場合は使用しないでください。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍋底のはがれた部分は、調理物に熱が伝わらず、鍋底のはがれた部分だけが異常過熱するおそれがあります。</li> <li>・ ご使用を続けるとトッププレートが変色したり破損(ひび割れ)するおそれがあります。</li> </ul> </li> </ul>
	鍋底が変色している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋底が変色している場合は使用しないでください。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鍋底の黒っぽく変色した部分は、見た目では鍋底がはがれていないように見えても、内側がはがれています。</li> <li>・ 鍋底のはがれた部分は、調理物に熱が伝わらず、鍋底のはがれた部分だけが異常過熱するおそれがあります。</li> <li>・ ご使用を続けるとトッププレートが変色したり破損(ひび割れ)するおそれがあります。</li> </ul> </li> </ul>
	はがれや変色はない または、貼り合わせた鍋ではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋をIHヒーターの中央に置いて再度ご使用ください。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に小径鍋や鍋底に凹凸がある場合は、IHヒーターの中央に置いていないと、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できないため、加熱を停止する場合があります。</li> </ul> </li> <li>● 鍋底やトッププレートの上に、汚れや水が付着している場合や、鍋底の反りなどが原因で、鍋底の温度が正しく検知できない場合があります。 汚れや水を取り除き、鍋底を確認してください。</li> <li>● 鍋をIHヒーターの中央に置いても加熱が停止する場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● お湯が沸かない</li> <li>● 火力感がない</li> </ul>	鍋底がはがれている または、鍋底が変色している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋底の異常過熱を検知して火力を下げています。 鍋底がはがれた鍋や、鍋底が変色した鍋は使用しないでください。</li> </ul>
	「鍋確認」が表示され 点滅している 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「鍋確認」が表示され点滅している場合は、「切」を押して加熱を一度停止させ、鍋がIHヒーターの中央に置いていることを確認してから再度ご使用ください。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に小径鍋や鍋底に凹凸がある場合は、IHヒーターの中央に置いていないと温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できないため、火力を下げる場合があります。</li> </ul> </li> <li>● 鍋底を確認し、はがれや変色がある場合は使用しないでください。</li> <li>● 鍋をIHヒーターの中央に置いて同じ現象を繰り返す場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。</li> </ul>
	鍋底が平らで、 トッププレートに 密着している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋底の形状によっては、数分間自動で火力を下げ、鍋底の温度検知を行います。検知終了後、設定火力に戻りますので、そのままご使用ください。</li> <li>● 鍋がIHヒーターの中央からずれている場合は、IHヒーターの中央に置いてください。</li> <li>● 鍋底やトッププレートの上に、汚れや水が付着している場合や、鍋底の反りなどが原因で、鍋底の温度が正しく検知できない場合があります。 汚れや水を取り除き、鍋底を確認してください。</li> </ul>

